



## 自己紹介

大淵由貴（おおぶちゆき）1988年東京都江戸川区出身。千葉大学法経学部総合政策学科卒。大学時代は環境NGOの活動に従事、また休学してバンクーバーでワーホリを経験。卒業後、電機メーカーで5年間営業を勤め、会社を退職して青年海外協力隊としてマダガスカルで活動中。

## お土産は？ お土産ちょうだいよ！

どこかに行ったら「お土産は？」近くても遠くても「お土産は？」とねだるのはマダガスカル文化。最近、帰国が近いので挨拶まわりをしています。小学校を訪ねた時に帰ることを告げると、生徒が校庭で座る時に使っている保護者手製のゴザをくれました。ねだるだけでなく、去る人には記念品を贈る。これもまたマダガスカル文化です。



## 全国から素敵なモノ大集合

### ～年に一度の農業見本市 フィエールマダ～

農業畜産水産省主催の農業見本市「フィエールマダ」が年に一度開催されます。様々な農業系の団体、プロジェクトが全国から集まり、自分たちの活動をアピールしたり、生産物、工芸品を販売する場です。会場で見た**素敵なモノ・気になるモノ**を紹介したいと思います。

**\*かまど** 粘土と金属板を組み合わせたかまど、煙突つきかまど(写真①)などが複数の団体で展示されていました。私が普及しているのは費用ゼロから始められるものなので、次のフェーズとして、強度や機能のアップが必要と思っています。かまどに費用を使うには見合わない経済力の農村地域ですが、材質、形、作り方など、少しでも参考になることがあればと思います。



**\*はちみつ、モリンガを使った商品(写真②)** 食品、石鹸、化粧品、など様々な種類が展開されています。**外国人がお土産にできるくらいのパッケージや品質**です。特にはちみつ商品は多くの団体が出展していたので、見た目での差別化が重要だと思いました。

**\*キャツサバ** 農村ではおやつに煮込んだキャツ

サバが食べられています。見本市の会場には見たこともないほど大きなキャツサバや、カラメルのかかったキャツサバケーキ(写真③)がありました。**身近だと思っていたキャツサバ**ですが、**まだ知らない種類や調理方法**がありました。



**\*どこでも手に入るお菓子～カカピジョン～** 子どもに大人気のカカピジョンというお菓子(小麦粉生地を細くきって揚げたもの)があります。どこでも売っていますが、**大した差はなく基本的には塩味**です。今回は**野菜や果物の味を練りこんだカカピジョン**が販売されていました(写真④)。見た目も



きれいですし、栄養価も高いのであれば、普及の可能性があると思います。

**\*アンズズルベの農作物** 農業技術を指導しているプロジェクトのブースで、豆の販売をしているアンズズルベの若者に会いました。生産量アップを目指して栽培した豆で、品質

は他とあまり変わらなそうでしたが**”学んだ技術を使って栽培した豆”**ということで、若者の頑張りを評価してくれる人が訪れることを願います。

見本市は多くの人が集まる機会である一方で、似たようなものもあり、**差別化が難しい**と感じました。目を引くのは、パッケージがきれいな商品、雰囲気元気な団体等です。様々な人たちがアイデアを絞って自分たちの商品・サービスの向上に努めていることに、明るい未来を見せてもらった気がしています